

一牧師室から一

教会創立13周年記念礼拝を捧げた。伝道所を開所した当初、牧師が決まらず無牧であった。その頃、説教に度々来て、ご指導くださった乙幡和雄牧師をお招きした。先生は心臓発作で体調を崩しておられたが、牧会される「新生教会」は心配し、奥様とご同伴で送り出してくださいました。

先生は「心」は見えないが、「形」で表われると語り始めた。そしてマルコ福音書1章の「らい病を患っている人をいやす」奇跡から話された。らい病者は「汚れた罪人」として共同体から完全に排除された。律法によって一目でらい病者と分る身なりをし、人を見かければ「わたしは、汚れた者です」と叫ばなければならなかった。全くの孤独と絶望の中で悲惨な生活に捨て置かれていた。そのようならい病者が律法を犯し、イエスに近づきいやしを懇願した。イエスは「深く憐れんで手を差し伸べて、その人に触れ」られた。ここに神を現わすイエスの真意がある。神から捨てられた罪人と

規定されたい病者を全身をもって受け止め「清くなれ」と宣言しいやされた。イエスのこの行為は律法違反であり、死を意味する。イエスはその死をも恐れず、律法の下で葬り去られた人々を無限に受容し、生きる権利を回復された。このイエスに神を見る。私たちもイエスの十字架の死に清められ（赦され）「生きよ」と宣言されている同じ「福音」に与かっている。それは、必然的にイエスの生き方の追体験を求め、悲しみ悩む者と連帯しようとする。教会はこの福音を信じ、喜びと感謝を行動で表わす。神の「心」は見えないが、教会の行動でイエス・キリストを「形」で表わしていく。それが「歴史を拓く教会」の使命であると結ばれた。

午後の愛餐会で、婦人の人権が認められなかった時代、イエスは婦人を弟子として招かれた。これは婦人を「人間」として受け入れた大変革であったと語られた。ユーモアに富み、柔らかなお話し時を忘れた。伝道所時代の先生の思い出話に花が咲いた。

週 報

1993年7月4日 聖霊降臨節第6主日

巻14 14号

1993年度教会主題

「キリストが私たちの内に形づくられる」

聖句 二人は言った。「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたも家族も救われます。」そして、看守とその家の人たち全部に主の言葉を語った。

使徒言行録 16章31節～32節

- 目標
1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
 2. 教会の組織を再検討し、キリストの体を作る。
 3. 家族こぞって主イエスを賛美する。

日本キリスト教団

横浜港南台教会

〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

電話 045-833-5323、045-833-6616

振替 横浜 9-13994

牧師 秋 吉 隆 雄